

令和元年度 学校評価（児童アンケート） 12月実施

各評価は％表示

調査項目・評価		4	3	2	1
1	1 先生は、わからないところをていねいに教えてくれる。	84	13	3	0
2	2 先生は、授業がわかりやすくなるよう、いろいろな工夫をして教えてくれる。	73	20	4	3
3	3 先生は、学習のきまりをしっかりと守らせている。	81	17	2	0
4	4 授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがよくある。	33	36	21	10
5	5 将来の夢や希望を持っている。	75	16	6	3
6	6 読書を進んでやっている。	51	18	23	8
7	7 家庭学習を進んでやっている。	52	26	18	4
8	8 先生は、自分のことをよくほめてくれる。	53	34	9	4
9	9 先生は、いじめなど困っていることについて取り上げてくれる。	79	19	2	0
10	10 先生は、わたしたちの話をよく聞いてくれる。	75	22	2	1
11	11 道徳の授業は自分のためになっている。	74	22	2	2
12	12 自分の物や学校などの物を大切にしている。	68	27	4	1
13	13 学校へ行くのが楽しい。	60	25	7	8
14	14 進んであいさつをしている。	60	25	11	4
15	15 安全に気を付けて行動している。	64	25	8	3
16	16 体力づくりにはげんでいる。	58	23	15	4
17	17 毎朝決まった時間に起きることができる。	44	30	15	11
18	18 毎朝ごはん（パンなど）を食べている。	79	13	5	3
19	19 先生は、連絡ノートや日記などに学校での様子などをメモしたり、学級での様子をお家の人（保護者）に伝えたりしている。	66	23	8	3
20	20 地域が好きである。	68	19	8	5

【調査結果H29～R1】

	そう思う			ややそう思う			そう思う・ややそう思うの合計			前年度差
	R1.12	H30.12	H29.12	R1.12	H30.12	H29.12	R1.12	H30.12計	H29.12計	
1	84	64	53	13	31	28	97	95	81	2
2	73	65	55	20	26	33	93	91	88	2
3	81	66	58	17	27	32	98	93	90	5
4	33	29	28	36	35	33	69	64	61	5
5	75	68	65	16	23	25	91	91	90	0
6	51	46	42	18	28	27	69	74	69	-5
7	52	41	42	26	32	32	78	73	74	5
8	53	49	44	34	37	40	87	86	84	1
9	79	62	59	19	28	29	98	90	88	8
10	75	54	53	22	35	36	97	89	89	8
11	74	65	57	22	27	31	96	92	88	4
12	68	61	51	27	31	38	95	92	89	3
13	60	47	43	25	31	36	85	78	79	7
14	60	54	48	25	31	33	85	85	81	0
15	64	61	56	25	28	30	89	89	86	0
16	58	58	48	23	23	30	81	81	78	0
17	44	46	38	30	29	31	74	75	69	-1
18	79	79	78	13	14	13	92	93	91	-1
19	66	61	54	23	22	25	89	83	79	6
20	68	61	54	19	25	33	87	86	87	1

	あまりそう思わない			思わない			あまりそう思わない・思わないの合計			
	R1.12	H30.12	H29.12	R1.12	H30.12	H29.12	R1.12	H30.12計	H29.12計	差
3	4	7	0	1	3	3	3	5	10	-2
4	7	9	3	2	3	1	9	12	-8	
2	4	6	0	3	3	2	7	9	-5	
21	24	22	10	12	17	11	36	39	-25	
6	4	5	3	5	5	3	9	10	-6	
23	16	21	8	10	10	15	26	31	-11	
18	19	15	4	8	11	14	27	26	-13	
9	9	11	4	5	5	5	14	16	-9	
2	8	9	0	2	3	2	10	12	-8	
2	8	7	1	3	4	1	11	11	-10	
2	5	8	2	3	4	0	8	12	-8	
4	7	9	1	1	2	3	8	11	-5	
7	11	11	8	11	10	-1	22	21	-23	
11	11	13	4	4	6	7	15	19	-8	
8	11	7	3	10	7	5	21	14	-16	
15	14	13	4	5	9	11	19	22	-8	
15	17	17	11	8	14	4	25	31	-21	
5	5	5	3	2	4	2	7	9	-5	
8	11	13	3	6	8	5	17	21	-12	
8	10	9	5	4	4	3	14	13	-11	

<結果>

- H30年は、前年度比マイナス項目が4項目あったが、R1年は「6 読書を進んでやっている。」「17 毎朝決まった時間に起きることができる。」「18 毎朝ごはん（パンなど）を食べている。」3項目となり1項目減少している。また、マイナスのうち2項目は前年度比-1%となっている。
- 項目別で見ても1・2・3・4・7・8・9・11・12・13・19の11項目は2年連続で上昇している。
- 項目1・2・3・4・7・8・9・10・11・12・13・19の12項目はここ3年間で数値が最も高くなっている。
- 2年連続で減少している項目はない。

- 「4 授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがよくある。」「6 読書を進んでやっている。」「7 家庭学習を進んでやっている。」「17 毎朝決まった時間に起きることができる。」の4項目はプラス評価が80%を切っている。

<考察>

- 「前年度比マイナス項目が減少していること」や「ここ3年間で最も高い数値が12項目」あるのは、教諭1人1人が児童によりそい、学校教育目標や目指す子ども像を明確に意識した取組を実践しているからだと考えられる。

- 項目4に関しては、「まとめる」「発表する」場の設定が充分ではないと考えられる。
- 項目6、7、17に関しては、各取組の目的やその意義を児童に伝えることや保護者との連携や協力依頼が充分ではないと考えられる。

<改善策>

- 各教科の特性をいかした言語活動の充実に取り組んでいく必要がある。また、「まとめる」の時間設定や「発表する」際の話し方・聞き方などの指導を充実させていく必要がある。
- 「読書」や「家庭学習」の定着していない児童に対して、自主的に行えるような取組を行っていく。また、家庭においては「家庭学習強化週間」等を通して、「家庭学習のやり方」を伝える。また、決まった時間に「読書」や「家庭学習」を行ってもらったり、賞賛の声かけやコメントをしてもらったりするなどの協力依頼を行っていくこと。